

問題点と対策

(3) 露地の場合

(1) 夏蒔き栽培に適する品種
5品種を栽培してみても有望なものは、ニューサッポロ、ニューみちのくおよびスーパー新葉であった。

10 a 当たり粗収益	138,768	138,528	441,870	291,126	358,776
生産費合計	45,172	45,172	45,172	45,172	45,172
純収益	93,596	93,356	396,698	245,954	313,604
家族1人1日当たり労働報酬	1,108	1,105	4,695	2,911	3,711
所得率	67.5	67.4	89.8	84.5	87.4

註) (イ) 10 a 当たり収量は製品量で示す。

(ロ) 自家労働力は1人、1日10時間、1,500円とした。

た。この3品種はキングオブデンマーク、バイキングに比し生育はきわめてよく、葉柄の伸びも良好で収量も高い。しかし、は種後30日以上経過すると抽台が急速に進んでくるため20日～25日目で収穫すると抽台も少なく良質の製品が得られるようである。

(2) 被覆による栽培条件の改善

(ア) 寒冷しゃで被覆した場合

抽台は露地より少ない傾向にあった。しかし収量では劣りしかも生産費は露地栽培より10 a 換算で7万4,000円多く必要とするため検討を要するであろう。

また黒色の寒冷しゃのためと思われるが葉色が淡く葉質も軟弱であった。しかし今回は栽培の全期間高温、多照には遭遇しなかったため引き続き検討する必要があるものと思われる。

(イ) 稲わらマルチングの場合

稲わら(カッターで5 cmに切断)の施用がやや少なかったため、30%位被覆されない部分(風で飛散したり、低い部分へ集積した)ができたためマルチングの効果は期待できなかった。少なくとも3.3 m²当たり4～6 kgは必要と思われる。葉質は硬い傾向にあったが、その原因については判明できない。

(ロ) 露地の場合

他区より収量が多く、しかも生産費が少ないため収益

が高かった。

以上総合して次のことが考えられる。

A 品種と気象条件の関係

7月1日は種したほうれん草の生育期間の気象条件は7月上旬前後(6月19日より7月9日までの20日間)の降水量が合計20 mmと少なく、発芽の条件としてはきわめて不良であった。

しかし生育最盛期は平年より気温が低く曇天で降水量が多かったため、生育にはもっとも適していた。

また7月20日は種したほうれん草の気象条件は、7月1日蒔きとは逆に発芽前までは気温が低く降水量も多かったが、生育最盛期(7月下旬～8月上旬)は気温高く降水量が少なかった。

いずれもは種期、生育期に気象条件や土壌条件が異なってもバイキング、キングオブデンマークに比し、他の3品種の生育が良好であったことは、品種選択上の参考となった。

B 品種と被覆との関係

被覆によって経費と労働力は生産費中に占める割合いが非常に高く、生育および収量も期待した結果にならなかった。

そこで適品種を選定し、発芽前まで十分かん水し、栽培するならば露地での栽培は容易であると考えられる。

ほうれん草ニューサッポロの 8月播きで好成績をおさめている 加来さんの栽培技術

上野幌育種場

中原 忠 夫

加来さんの経営概況

札幌市里塚の加来さんは、急激に膨脹しつつけている宅地化の渦にまきこまれずに、どっかりと腰を据えた蔬

菜專業の精農家で、近郊特有の市場の状況を肌で感じとり、すぐに対応のできる経営につとめられております。

昨年度の野菜の作付状況をみると、比較的経営規模が大きいため、家族労力(ご夫婦主体にご両親の手伝いが

加わる)で消化しうる範囲内の作目をえらび、粗収入の拡大をねらいとした作付様式をとりいれております。

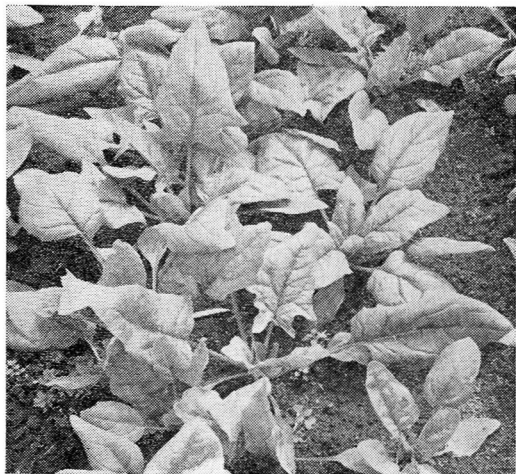
昭和48年度の野菜の作付内容

アスパラガス	90a (グリーン)
レタス	80 (グレートレーク 366)
ほうれんそう	140 (作付延面積)
その他	30
レタス・ほうれんそうの前後作に、葉菜類を主体とした小物が作付される。	
計	340

ほうれん草とのとりくみ

ほうれん草は栽培管理の容易な種類ですが、夏季の高温ときには作りにくいということと、収穫、荷造りの手間をかなり必要とするという栽培上の特性をもっております。毎年7月から9月上旬にかけ品不足による高値が続ぎ、この時期にほうれんそうを上手に作れば経営上きわめて有利だといえましょう。

夏季のほうれんそうは高温による発芽不揃い、生育不良と病害の多発、日長による早期抽台など栽培技術上むずかしい問題が多く、かりに上手に作れるようになったとしても、いろんな種類の野菜が市場にドッと品揃いする時期ですから、ほうれんそうが品不足だからといって多量のほうれんそうを一時期のみに出荷したのでは有利な価格で仕切られるとはかぎりません。そこで夏中平均してきれめなく出荷するというのが大切になってまいります。そうすることによって市場の評価をたかめ、また単価も旬別なり、ある出荷期間をプールしたうえでながめることにより有利性がみとめられるものです。しかし長期間平均して出荷するためには、いっそう高度な栽培技術が要求されます。



加来さんは10数年来夏播きほうれんそうととりくんでこられたベテランで、7月から9月にかけて、市場の休日以外は連日同じ位の量を出荷するという栽培様式をとりいれております。そのために播種即出荷という考えから、3日おきに4aずつ播種されています。これは1日に収穫、荷造りのできる面積が2aぐらいなので、1回に播種した分を2日で収穫するとして予備日を1日みて3日ごとに播種するということです。そうするとほとんどきれめなく出荷が続けられております。

播種は第1図のように6月初旬からスタートし、品種としては晩抽、耐暑性に富むキング・オブ・デンマークが7月中旬までとりあげられております。7月下旬以降の播種では生育のおくれが目立ち、これにかわる優良種の選定についてはつねに注目されておられた。たまたまニュー・サッポロを8月上旬播きにとり入れてみたところきわめて好成绩が得られたということです。

ニューサッポロを秋播きにとりいれて有利な点

加来さんはニュー・サッポロを8月5日から播きはじめ、20日過ぎまで播いたところ、早熟気味であったが、きわめて生育旺盛で、太りが早く、予定の35日前後から収穫がはじめられたということです。ニュー・サッポロは耐病性に富み、太りが早いばかりでなく、半立性なので収穫しやすく、調製、荷造の手間も少なくすんだということです。ただ葉数が少ないためか、反収はキングより多少下まわって、350~400箱ぐらいだったが、葉色、品質がきわめてすぐれ、市場の仕切価格は、毎日最高で仕切られ、平均価格を大きく上まわったということです。これは栽培技術、播種から出荷までの計画性などがすぐれているためと考えられますが、加来さんはニュー・サッポロの品種の優秀性によるものと力説されていきました。

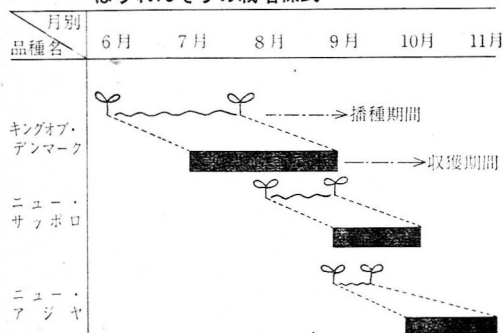
なおニュー・サッポロは8月2日播きでトウ立ちの心配はなかったということですが、播種期の前進について検討したいということです。いずれにしても7月中下旬播きのキングにかわる優良種を希望されており、現段階ではニュー・サッポロの前進栽培に私どもも注目したいと思っております。

加来さんのほうれん草栽培の要点

1 播 種

播種してから収穫するまで、その年の気象条件にもよ

ほうれんそうの栽培様式



るが、32～35 日くらいかかるから、アスパラガスの収穫のおわる7月初めに、引き続いてほうれんそうを出荷するためには6月1日から播種をはじめ、3日おきに9月までつづけられます。

畦幅 50 cm に 15 cm 幅の 2 条播き、改良したタマネギの播き種器を使ってうす播きします。種子はウスブルンで消毒した後、夏分は納屋の庭上にうすく拡げておき、芽の切るのをまって催芽播きします。機械播きのために、角種子より丸種子の方が扱いやすいということです。

播種後は 30 cm 幅のローラをつけた小型耕耘機で鎮圧している。鎮圧は発芽を統一にし、間引作業も容易になるということです。

2 間 引

キング・オブ・デンマークは 10 cm、ニュー・サッポロは 7～8 cm の千鳥になるよう早めに行ないます。天候の関係で生えおくれのでた場合はさらに 1 度見まわるよう



にするなど、丁寧に行なった方が、品種をよくするばかりでなく、収穫に当たって葉をいためない上に、省力にもつながるということです。

3 除 草 剤

現在レンザーを使用しているそうですが、跡作の十字花に残効性があるて、とくに直播の場合発芽に影響することなので注意を要します。

4 施 肥

pH 6.5 くらいの畑に改良しないとほうれんそうはよく育ちません。施肥としては堆肥 4～5 t、化成肥料 5～5～0 (千代田化成) を 160～170 kg (成分量チッソ 24 kg、リンサン 24 kg、カリ 16 kg を全面施与しております。

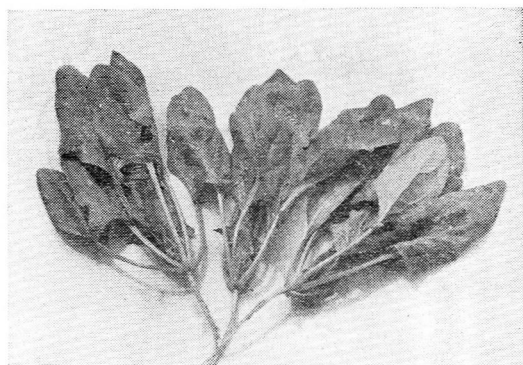
5 防 除

べト病防除にはグリーンダイセン 400 倍を 3～4 回おきに計画的に散布します。ヨトウ、ハムグリが発生のおそれのある場合はディブテックスを混せて使用します。播種後 15 日ころから 3～4 回の散布はかせません。

6 収 穫

草丈 28 cm (うち根 1 cm くらいつける) が最適、日中収穫して枯葉やいたんだ葉をとり除き、できるだけ水洗いをさけ、4 kg 箱につめて出荷します。

(文責編集部)



札幌中央市場の出荷量と平均価格

月 別	6	7	8	9	10
出 荷 量	209 ^t	158 ^t	151 ^t	176 ^t	175 ^t
平均 月別	55 ^円	91 ^円	117 ^円	113 ^円	128 ^円
単価 旬別	—	—	上 中 下 123 113 116	上 中 下 157 97 93	—